



政治家
弁護士

木原くにや通信

第16号

令和8年3月発行

討議資料

山上単独犯行説は医学的・科学的に無理があります

安倍元総理 暗殺事件の真相究明 に力を尽くします!

1 政治的妥協の産物たる「無期懲役判決」

令和8年1月22日、「安倍元首相暗殺事件の真相を究明する会」の副会長である私は、奈良弁護士会館で記者会見を開きました。

奈良地裁が山上徹也被告に対し、同月21日に無期懲役判決を言い渡しました。しかし、「真相を究明する会」では、医師、警察OB、救急救命の専門家、物理学者などが6つの分科会で真相究明を続けた結果、「山上単独犯行説は医学的・科学的にあり得ない」との報告書をまとめました。

そもそも、国家の要人に対する殺人既遂事件であれば、死刑の求刑・判決以外にはあり得ません。

ところが、裁判所も検察も弁護団も、後述するとおり、山上単独犯行説が客観的に成り立たないことを知っていたからこそ、政治的妥協の産物として無期懲役の求刑・判決となったのです。



「安倍元首相暗殺事件の真相を究明する会」記者会見
(左から山口敬之代表世話人(ジャーナリスト)、南出喜久治会長(弁護士)、木原) (令和8年1月・奈良市内)

2 山上単独犯行説の矛盾点

山上単独犯行説には数々の矛盾点がありますが、その中でも重要なことは以下の3つです。

①救急医の初期所見との矛盾

警察の公式発表は「死因は、左右鎖骨下動脈の損傷による失血死」とされていますが、搬送先の救急医(福島教授)の初期所見は、心臓そのものが撃ち抜かれた「即死状態」であった点です。

すなわち、搬送先の奈良県立医大・救急診療科部長の福島英賢(ひでただ)教授は、事件当日の記者会見で「頸部に2カ所銃創があり、心臓の心室と大血管を大きく損傷していた」と、頸部2カ所が射入口であると説明しました。しかし、県警の司法解剖では、左肩前方1カ所が射入口であると、安倍元総理の左方にいた山上による単独犯行説を前提とした結論に変遷したのです。

「究明する会」は、安倍元総理の周りにいた8人に対して取材したところ、8人とも、撃たれた後の安倍元総理に死戦期呼吸(心臓が停止した上で肺に残っている空気が漏れる現象として「ぜえぜえ」と喘ぐ現象)があったと証言しています。これは、失血死ではなく、心臓を撃ち抜かれた即死であったことを裏付け、福島教授の初期所見とも一致します。

そして、銃撃時の動画を見ると、山上砲の1・2発目の間に「シュッ



初期所見(福島教授)は、頸部2カ所(左写真)が射入口、左肩前方1カ所(右写真)が射出口と説明していた。しかし司法解剖(県警)では左肩前方1カ所が射入口であると、結論が変遷した。



銃撃時の動画(QRコードから視聴可)では山上砲の1・2発目の間に安倍元総理のシャツ右襟が激しく左に揺れた。

ピ」という甲高い音（高周波数の音）とともに安倍元総理のシャツ右襟が激しく左に揺れたのです（本誌表面右下のQRコードから動画視聴可）。この揺れは、山上でない第三者による、頸部2カ所への射入時に生じた可能性があるのです。

②山上砲が実弾なら物理的にのけ反っていたはず

山上散弾銃は、直径5mm～10mmの弾6個を2回発射したとされますが、仮に9mm弾6個が200m/sの速度で発射されていれば400J（ジュール）のエネルギー量に達し、作用・反作用の法則により、銃後方のネジ蓋が破壊されるか、山上が1・2発目の間にのけ反って前にスイスイ進めないはずですが、そのような事実はありません。また、仮に実弾であれば高周波数（約3000Hz）の発射音が生じますが、音声データを解析したところ、低周波数帯（約1300～1600Hz）に限定された、空砲特有の発射音だったのです（中田健二著「安倍元首相を狙撃したのは本当に山上なのか？」）。

③山上家と旧統一教会は「和解済み」だった

山上の犯行動機は「母親の多額献金によって家庭が崩壊させられたことへの積年の恨み」とされています。しかし、山上家と旧統一教会の間では、平成21年5月22日、教会側が山上家に5000万円を返金するとの合意書（山上本人の署名押印あり）が締結され、平成26年10月までに全額が完済されていたので、犯行動機自体が成り立たないのです。

3 殺人未遂の弁論を張らない弁護団

しかし、山上の弁護団は、福島教授の証人尋問を申請せず、山上単独犯行説には科学的に矛盾があることから少なくとも殺人未遂罪にとどまるとの弁論を張るべきであるのに、殺人既遂罪の成立を争わず、情状事実の限度でしか争わないのですから、弁護人としての最善努力義務に反すると言わざるを得ません。

この点をとらえ、私は、記者会見の席上、「素人でもおかしいと思うことが全く検証されない。こういう疑問を陰謀論とレッテル張りすることこそが陰謀と言わざるを得ない。どれだけ時間がかかっても必ず真相を究明していきたい」と、今後も政治家弁護士として真相究明に取り組んでいく覚悟を述べました。

東灘区でもっとも地域に根差した政治家を目指します！

神戸市民のお困りごと、木原くにやにお任せください！

私、木原くにやは、政治家弁護士として、行政に虐げられ、行政の救いを差し伸べてもらえない方々のために働き、神戸市民のお困りごとの解決に取り組んでまいりました。

その例として、①国・ファイザー・モデルナを相手取った、新型コロナワクチン接種後の死亡・後遺症被害救済訴訟を、神戸地裁を含めて全国で6件提起し、②兵庫県内を含む全国の児童相談所で多発する、強制的な親子分離（一時保護、施設入所措置）から家族を守るための相談・裁判などを手掛けてきました。

地元東灘区内では、引き続き、住民の声を聞くため地域回りを徹底し、老いも若きもいきいきと暮らせる神戸市政を実現させ、「かがやく神戸」を力強く前に進めてまいります。

さらに、昨年は全国47都道府県で集会・街頭演説を開催し、全国の皆さんに私の政見を説いてまいりました。戦後日本は、①占領憲法（日本国憲法）体制と②エネルギー・食糧の海外依存体制に苛（さいな）まれているとの問題意識の下、祖国日本を真の独立に導くため、本年も全力で政治活動に励んでまいります。



正統皇室典範・憲法復原改正を求める国民集会を主催（令和7年11月29日・東京都内）
中央車いすの男性はドクター・中松先生

 **くにやんチャンネル**
木原くにや動画チャンネル
チャンネル登録よろしくお祈りします！



兵庫むすびの党 代表 弁護士 木原 功仁哉 41歳

【事務所】〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町 3-15-15
グランディア住吉駅前 4階西号室（JR住吉駅南へ徒歩3分）
電話 078-855-4014 E-mail info@kiharakuniya.com

【経歴】昭和59年3月神戸市生まれ、市立御影北小学校、滝川中・高等学校、京都大学工学部物理工学科、旧大阪市立大学法科大学院各卒業、平成27年弁護士登録（東京弁護士会）、令和3年に高齢になりつつあった母が入院したことを機に神戸に帰省を決意。同年6月独立開業、令和5年4月の神戸市議選（東灘区）では無所属で4386票を得たものの166票差で次点。この落選を機に、神戸のみならず全国規模でさらに精力的に活動中！

毎朝の地域見守り活動に取り組んでいます。今年で3年目になります！

